

平成25年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、事業計画をもとに具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

西区内の第一地区の一部・第2地区全域・第5地区の一部とみなとみらい地区を担当しています。みなとみらい地区や国道一号線沿いの地域では、近年マンションが増えて子育て世代が増加しています。一方、古くから住み続けている住民の多い地域では、高齢化が進み、また地域の担い手にも高齢者が増えてきています。

高齢者、子育て世代、障がいのある方など、地域にお住いのすべての方々に、必要な情報やサービスが届くように取り組みました。

- ・高齢者には、介護保険や介護予防に関するサービスのご利用や情報をお伝えするとともに、必要な事業を行いました。
- ・子育て世代には、遊び場の提供や子育ての仲間作りなどの支援を行いました。
- ・団塊の世代では、地域での仲間作りや次の地域の担い手育成、ボランティア養成等に取り組みました。
- ・みなとみらい地区の住民の方にも、ケアプラザの存在、役割を知っていただけるよう取り組みました。

各世代が、互いに認め合い、助け合っていけるような地域の実現を目指し支援に取り組みました。また、各地区の「地域福祉保健計画」の取り組みにも積極的に関わりました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

様々な世代、特に高齢者や乳幼児に多くご利用いただく施設として、何よりも安全に利用していただけるように、施設や設備の管理を定めに従い定期的に行いました。

また、気持ちよくご利用いただくために、日々の清掃を丁寧に行い、施設周りの植え込みの手入れや水やりも定期的に行いました。

その他、感染症などの対策として、消毒液で手すり等の拭き掃除を毎日実施し、トイレ利用の一般のお客様向けに、通路に消毒液噴霧器を設置いたしました。また、受付に花を飾ったり、掲示板を季節ごとに飾りつけるなど、お越しになったお客様に見た目に楽しんでいただけるように工夫しました。

イ 効率的な運営への取組について

横浜市内に18か所のケアプラザを運営する法人本部と連携を図りながら、通所介護事業におけるシステムの導入など、事務等の業務の効率化を図りました。また、各種物品の購入や機器のレンタル等に関しても、法人本部の電子入札を活用して経費の削減を図りました。

法人のケアプラザ所長会においても、情報交換などで検討を重ね、より一層の運営の効率化を図りました。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情解決担当者、苦情解決責任者を設けて、ご利用者からのご意見、ご要望、苦情等に対応いたしました。また、法人でも公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組めるような体制を整えております。皆様からお寄せいただいた苦情は毎月、サービス向上委員会を開催して苦情の分析を行い、その結果は会議において職員に周知し、再発防止などに活かしています。

ご意見や苦情から多くを学び、お客様のお気持ちに添ったサービスが提供できるように全職員が取り組みました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、「防災対応マニュアル」「消防計画」、首都圏の大地震に備えた「防災マニュアル 震度7に備えて」を策定しております。それらは、会議等で周知を図るとともに、実際に活用できるように体制を整えました。また、災害発生時に迅速に職員体制が整うように、職員の安否確認メールの整備を整えています。

また、年2回の防災訓練を通して、緊急時に職員がマニュアルに則った適切で迅速な動きがとれるように行いました。今年度も2回の訓練を行い、うち1回は複合施設である戸部ハマノ愛生園と合同で行いました。戸部ハマノ愛生園とは日頃からよい関係を結び、緊急時に備えております。

その他に、特別避難場所として応急備蓄品の管理を適正に行っています。また、法人としても職員分のヘルメットや食糧、簡易トイレ等の備蓄品を整備しております。

オ 事故防止への取組について

通所介護事業等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングや隔月開催のスタッフ会議などでお客様の状況、情報を共有して、事故の防止に努めています。さらに、リスクマネジメントを学びイメージすることで、事故を減らす取り組みの強化を図りました。また、個人情報漏えい事故を防ぐために、お客様の送迎時に使用する送迎板の取り扱いや、個人情報の持ち運び方など、法人全体で細かくルールを決め、実践しています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、また、法人本部で行われる個人情報保護・情報セキュリティ研修に職員を受講させ、全職員に向けて伝達研修を行いました。

毎日の業務の中における個人情報の取り扱いのルールを具体的に決め、契約書・ファイル等の書類は、施錠可能な保管庫に保管しています。パソコンのデータはウイル

ス対策・パスワードの使用を徹底するとともに、法人の方針により、「NAS」でのデータ管理を行い、より強固なセキュリティ管理体制を敷いています。またパソコン本体にも盗難防止チェーンを取り付けて、盗難対策を行っています。

業務において書類等を外部に携帯する際は、持ち出す情報を最小限にすること、個人が特定できないように工夫を行うこと、自転車に盗難防止の袋を取り付けることなどを日常的に行いました。

また、ファックス送信時は必ず2人で送信先を確認し、通所介護の連絡帳などの荷物の返却はスタッフが2人1組で確認を取り、手渡しや郵送する書類は日付・場所・対応者がわかるようにダブルチェックを行いました。

職員全員が、貴重な個人情報を取り扱っているという緊張感を常に持って、日々業務に立っています。

キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報公開請求があった場合には適切な対応ができるように整備しています。

また、ホームページを活用して、各種事業に関する情報や運営について広く情報を公開しています。

介護保険事業の記録の開示についても、ご利用のお客様、ご家族には説明を行っています。

ク 環境等への配慮及び取組について

日常的にごみの削減・分別等に取り組み、横浜市のごみの削減に協力をしました。

多くの参加者が集うケアプラザまつりの際には、公共の施設として、地域の環境委員の方と協力して、広く地域の皆様にごみの削減、分別し、資源として使うことの大切さなどをアピールしました。

日頃から節電や節水に心がけ、服装を夏場はクールビズ・冬場はウォームビズを推進し、節水弁を取り付け、法人ルールのエアコンの設定温度など遵守など、省エネルギー対策にもしっかりと取り組みました。

また、ケアプラザ周りの植栽の水やりなども欠かさずに行い、地域の皆様に楽しんでいただけるように配慮しています。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

兼務	包括支援センター	保健師担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	3名

《目標》

- ご利用者の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成しました。サービスの導入にあたっては、実現可能な目標の設定を行い、評価で振り返りながら実施しました。
- 要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、地域包括支援センターや地域活動交流の事業などと協力して地域で行っているサービスや自主事業につながるように支援しました。
特に独居の方や高齢者世帯の見守りは、介護保険以外でも他の職種と協力しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を超えて訪問する際には、重要事項の説明にそって、交通費の実費をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 要支援者・二次予防事業の参加者を対象として、介護予防事業やボランティア講座を実施し、介護予防の推進に努めました。
- 地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように、所内にて定期的に会議を行いました。日常的に情報交換を行い、協力体制を敷いて、個別ケースを多面的、総合的に解決できるように取り組みました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
155	154	152	153	152	153
10月	11月	12月	1月	2月	3月
154	154	158	161	166	162

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者（介護支援専門員兼務）	1名
常勤	介護支援専門員	2名
非常勤兼務	介護支援専門員	3名

《目標》

●在宅生活を支援します

ケアプランの作成にあたっては、利用者の心身の状態や置かれた環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が営めることを目指しました。

●公正中立な立場に立つてのサービス調整します

行政機関や保険・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等の多様な、ご本人にとっても適していると思われる事業所の中から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立つて調整を行い、ケアプランを作成しました。

●資質の向上に努めます

ケアプラザにおいては職員の資質の向上を図るために、毎週伝達会議を実施し、また、年間計画を立てて研修を行い、自立支援に資するケアプランが作成できるように努めました。

日々の業務の中からも互いに学びあい、全員がケアマネジャーとして信頼いただけるように励んでまいりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●通常のサービス提供区域以外の地域に訪問する必要がある場合は、事前に文書で説明を行い、支払いに同意、押印をいただいた上で実費をお支払いいただきました。

- ・公共交通機関を利用した場合：かかった運賃の明細書により請求しました。
- ・自動車を利用した場合：片道6.5km未満は無料、6.5km以上は10kmごとに160円を徴収させていただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

●質の高いケアマネジメントを提供する「特定事業所加算」Ⅱを取得する事業所として登録しております。24時間365日、相談を受けられる体制を整え、伝達会議を毎週行い、職員全員の質の向上を図りました。

●地域包括支援センターとの連携を深めて、複雑な問題を抱えたお客様の支援にも取り組み、地域の皆様に信頼いただける事業所として、お客様お一人ひとりに丁寧に、迅速に、きめ細かな支援を行ってまいりました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
81	81	84	82	83	78
10月	11月	12月	1月	2月	3月
78	83	81	82	76	81

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）
介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）・健康状態の確認・送迎・食事・
入浴などのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じて個別機能訓練や
口腔機能向上のためのプログラムも実施しました。
- 通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重し
心身の状況、その置かれている生活環境等に応じて、ご利用者が自立した日常
生活を営むことができることを目的とし、また計画の作成や評価にあたっては必
要に応じてご利用者、ご家族への聞き取りや、お宅への訪問などを行い、状況確
認を行いました。
- サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・
福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス
の提供に努めました。利用後も要介護状況の軽減もしくは悪化の防止又は、要介
状態になることの予防に資するように十分配慮しました。
- サービス提供時間を有効に活用いただけるように、お客様に選択していただける
少人数対象のプログラムも提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担

（要介護1）	728円
（要介護2）	855円
（要介護3）	988円
（要介護4）	1,121円
（要介護5）	1,253円

● 加算

サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円
入浴加算	53円
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する 単位数の料金

● 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	3名
	看護職員	5名
	介護職員	23名
	機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
	調理員	6名
	ドライバー	5名

《目標》

- ・ 自立支援の観点から、お客様お一人おひとりの目的に合わせたサービスを提供致しました。
- ・ お客様が安全に、リラックスしてお過ごしいただける雰囲気づくりに努めました。
- ・ お客様やご家族からのご要望に真摯に耳を傾け、信頼関係づくりに努めました。
- ・ 職員、スタッフは、介護に関する知識や技術の向上の為、計画的に研修を行い、また、自己研鑽の為に研修参加などの支援をしました。
- ・ 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様、ご家族様のニーズにあった適切なサービスを迅速かつ確実に提供できるように努めました。
- ・ 美味しいお食事の提供の他に、お客様の状態にあわせた個別機能訓練を実施し、

心身ともにお元気に過ごして頂けるように取り組みました。

- ・地域活動交流事業との連携により、様々なボランティアの方々にお越しいただき、多様なプログラムを実施いたしました。
- ・個人情報取り扱いに関する手順をしっかりと守り、管理の徹底を行っています。
- ・介護保険法を遵守し、業務を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

●さらなる個別対応の取り組み

- ・お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じて自立支援の観点から支援を行いました。
- ・個別機能訓練計画書の目標の達成を目指して、機能訓練指導員を中心に機能訓練を行い、定期的な評価を行いました。
- ・お食事前は嚥下体操を行い、食後には口腔ケア行ない、口腔内の健康と嚥下能力の維持に取り組みました。
- ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムをご自身で選択して行っていただきました。
- ・季節感を感じていただける年間行事の他、ホットプレートを使用した調理、シルバースポーツ指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣へ外出する戸外機能訓練など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施いたしました。

●入浴

- ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんでいただきました。

●お食事

- ・厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供いたしました。
- ・お誕生日週間は、おやつに全国銘菓の和菓子や洋菓子を取り寄せて、様々な味を楽しんでいただき、お客様からは好評を頂きました。
- ・お客様皆様にご満足いただけるように、毎月の厨房スタッフ会議の中で献立の見直しを行い、さらに日々精進しています。

●スタッフ教育

- ・ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を定期的実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いや研修を実施しました。
- ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会等を年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。また、必要時にはお客様のカンファレンスも行いました。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
610	663	630	680	678	602
10月	11月	12月	1月	2月	3月
688	672	609	599	541	723

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供しました。また、ご希望に応じ、運動器機能向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- 予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し、心身の状況、生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮しました。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に配慮致しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1）	2, 213円
サービス提供強化加算（2）	26円
（要支援2）	4, 432円
サービス提供強化加算（2）	51円

● 加算

運動器機能向上加算	236円
口腔機能向上加算	159円
複数実施加算	506円
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する単位数の料金

● 食費負担

650円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 15：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（兼務）
看護職員	6名（兼務）
介護職員	23名（兼務）
機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	6名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により援助方針を決定し、お客様のニーズに合わせた最適の計画を立て、実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

● さらなる個別対応の取り組み

- ・ お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じた援助を行いました。
- ・ 運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、体力チェック、計画の評価を定期的に行いました。
- ・ お食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂くよう努めました。
口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアを行いました。

- ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムを選択して、行っていただきました。
- ・ホットプレートを使用した調理、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。また、初詣や盆踊り、運動会など季節に合わせた行事も実施致しました。
- 入浴
 - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんでいただくとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんでいただきました。
- お食事
 - ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供致しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を盛り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供しました。
 - ・お誕生日週間は、おやつに全国の和菓子や洋菓子を取り寄せて、バラエティー豊かな味を楽しんでいただきました。
 - ・お客様皆様にご満足いただけるように、毎月の厨房スタッフ会議にて献立の見直しを図り、日々精進いたしました。
- スタッフ教育
 - ・ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を定期的実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いを行いました。
 - ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を心掛け、業務にあたってまいりました。
 - ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施致しました。検討が必要なお客様には、カンファレンスも実施致しました。
- 関係機関・地域連携
 - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。また、お申し込みに関しても、スムーズにサービス開始ができるように迅速に受付をいたしました。
 - ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当地域のケアプラザのデイサービスでの取り組みを知って頂けるように、地域の集まりなどに赴きPR等に取り組みました。

《利用者数（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	19	18	17	14	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	16	16	17	16	13

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じて、個別機能向上や口腔機能向上のプログラムを実施しました。お客様の生活状況などを踏まえて、お一人ずつオリジナルのプログラムを行いました。
- 認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、要介護状態の維持・改善を目的に目標を設定しました。お客様のご希望を尊重し、心身の状況、生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮いたしました。そのため、ご自宅での生活に役に立ちそうな情報、ご家族の介護負担の軽減につながりそうな情報など、デイサービスでの様子を詳しくお知らせしながら、必要に応じてお客様やご家族様からお話を伺い、よりよいサービス提供に役立てて参りました。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図りました。
- 平成24年4月から、サービス提供時間を延長いたしました。個別プログラム充実を図るとともに、お客様の体調変化などにも留意いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	1, 098円
（要介護2）	1, 217円
（要介護3）	1, 336円
（要介護4）	1, 455円
（要介護5）	1, 575円

● 加算

入浴加算	54円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	160円
若年性認知症利用者受入加算	64円
サービス提供体制強化加算（I）	13円
介護職員処遇改善加算（I）	1か月のご利用単位数の1,000分の29に相当する単位数の料金
	650円

● 食費負担

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）
 ※年末年始（12月29日～1月3日）を除く

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護職員	6名（兼務）
介護職員	17名（兼務）
機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	6名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援、介護者の介護負担の軽減などの観点からサービスを提供致しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により対応方針を細かく決定し、支援致しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- さらなる個別対応の取り組み
 - ・少人数制でアットホームな雰囲気でのサービスを目指しました。
 - ・個別機能訓練は計画書をもとに、お客様一人ずつの目標達成を目指して、機能訓練指導員が個別に機能訓練を行いました。
 - ・お食事前には看護職員による嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がっていただけるよう取り組みました。口腔ケアを行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
 - ・脳トレ、書道、折り紙、塗り絵など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを充実させ、お客様に選択していただき、実施しました。
 - ・お客様個人の目標に合わせて外出（戸外機能訓練）や季節感を取り入れた行事など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムの提供を行いました。
- 入浴
 - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんでいただくとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんでいただきました。入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添いで誘導を行い、安全には十分に配慮しました。
- お食事
 - ・厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り入れ手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供しました。
 - ・お誕生日週間は、おやつに全国銘菓の和菓子や洋菓子を取り寄せて、ひと味違う味覚を楽しんでいただきました。
 - ・お客様皆様にご満足いただけるように、厨房スタッフ会議にて献立の見直しを行い、日々精進致しました。
- スタッフ教育
 - ・定期的に、スタッフ会議を実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いや研修を行いました。
 - ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
 - ・スタッフ一人ひとりが必要な知識や介護技術の向上のための研修を、年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。
- 関係機関・地域連携
 - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
 - ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当事業を知っていただけるように、積極的に地域に赴きPR等に取り組みました。

《利用者数（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
201	206	207	224	204	168
10月	11月	12月	1月	2月	3月
196	192	185	183	157	211

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防認知症対応型通所介護事業

本年度、介護予防認知症対応型通所介護事業のサービス提供はありませんでした。

《利用者目標（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	0	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- 「地域の身近な相談窓口」として、相談員（包括職員・地域交流職員）が不在でも各職員（非常勤職員も含め）が必要に応じ取次・初期相談に対応できるよう所内全体で取り組みを行いました。
- 個別相談から自主事業につなげ、継続的に支援や見守りを行いました。
- 子育て支援事業参加者からの相談には保育士経験のある職員が対応し、必要に応じて関係機関への情報提供を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- 地域の会合や事業に4職種で積極的に出向いて情報収集、情報提供、啓発を行い、地域ニーズ・個別ニーズの把握に努め、それらの地域活動の情報は4職種会議や各事業報告書など、職員間で共有しています。
- 介護予防事業・地域住民の交流・人材育成を目的とした事業に連携して取り組みました。また、団体や個別の課題については随時、情報共有し連携して取り組みました。

3 職員体制・育成

- 事業ごとの専門に応じて、必要な資格を保持し、経験豊かな人材を配置し、業務に従事しました。また、全職員が担当事業に限らず、地域ケアプラザの職員として、地域住民の多様な問合せに対応できるよう、研修等を実施しました。地域包括支援センター職員は専門集団であることを自覚し、自らが、あるいは管理者が必要と考える研修を受講し、専門性の向上を図りました。
- 法人本部・ケアプラザがそれぞれの年間研修計画を立て、職種・階層ごとに研修を行い、組織を挙げて技術の向上に取り組みました。
- 外部研修を活用し、職員の自己研鑽を支援しました。ご利用者や地域の皆様に、正しい専門知識と技術をもって対応できるように、常日頃から職員同士がともに学びあい協力し合っ業務にあたれるような職場環境づくり、研修や会議などを行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- 関係機関との連携を行っていくための事業を展開したり、各種団体との共催による事業を実施しました。
- ケアプラザ祭りや異世代交流会、ボランティア交流会などを通して、地域団体・障がい者施設・貸室利用団体のつながりの機会の充実を図り、福祉保健活動の推進に取り組みました。
- 西区役所や地域の社会福祉協議会、民生委員児童委員会などの会議に出席し、ネットワーク構築のための基盤となる関係作りに努めました。地域の抱えるさまざまな課題解決に向けて、それぞれが役割を發揮できるように、また、役割を超えて連携することによって、よりよい解決が導かれるようにネットワーク作りに努めました。また、西区内の他地域ケアプラザと協力しながらより広く大きな視点から地域の課題が解決できるように連携に努めました。

5 区行政との協働

- 地区支援チームの一員として、区役所・区社会福祉協議会と協働で地域福祉保健計画の推進に取り組み、地域課題の抽出、情報収集・情報提供に取り組みました。
- 地域福祉保健計画に基づき「にこやかしあわせくらしのうた」の普及に努めました。
- 地域ニーズを踏まえ、子育て支援、障がい児支援事業を協働で実施しました。
- 当法人と神奈川県警が協働で防犯の啓発を目的としたメモ用紙の作成をし、広く地域住民に配布いたしました。また、祭りなどのイベントを通し、消防署・郵便局との連携強化に努めました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域の会合や事業に4職種で積極的に出向いて情報収集・情報提供を行い、地域ニーズ・個別ニーズの把握に努めました。収集した地区情報やデータは地域アセスメントシートに集約し所内で共有しました。
- 自主事業参加者、貸室利用団体等へアンケートを実施し、ニーズの把握、情報の収集に努めました。また、防犯・保健等の最新情報を提供し、啓発に取り組みました。
- 地域の担い手と協働で「藤棚らいぶステーション」を通して幅広い年齢層の地域住民から情報を収集し、また、福祉保健の情報提供を行いました。
- 広報紙「とべとべ通信」を発行し、地域住民にケアプラザの機能や福祉保健の情報、ボランティア活動を分かりやすく周知するように努めました。また、事業チラシ等は随時、ケアプラザの掲示板・ホームページ・フリーペーパー・商店掲示板等、対象者が情報を得やすい媒体を活用して広く地域に情報発信しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 諸室の安全・衛生を保ち、快適な場の提供を行うため、避難経路図や備品の整理収納の掲示を明確にしました。日中の稼働率は、目標をほぼ達成しました。また、「情報コーナー」の充実を図り、団体の活動紹介、募集等の情報を提供しました。
- 自主事業から発展し自主化した団体に福祉活動の機会を提供し、継続的な活動の支援を行いました。
- 貸室利用団体が福祉活動につながるよう働きかけ、活動の場を提供しました。

3 自主企画事業

事業の企画にあたっては地域住民の意見や事業参加者のアンケート等を参考に、地域ニーズに対応した事業を展開しました。また、事業の目的を明確化し、実施後は事業成果や課題等の振り返りを行いました。

- 高齢者支援事業
地域包括支援センターと連携し、高齢者の居場所づくりや交流、介護予防の事業を実施しました。また、中高年からの介護予防・体力維持向上を目的とした事業の開催や地域での事業展開などで新規参加者の獲得に繋がりました。
- 子育て支援事業
地域の現状を踏まえ、0歳児親子を対象とした事業を継続し、乳幼児親子の仲間づくりや育児不安・ストレスの解消に効果がありました。「子育て支援拠点スマイル・ポート」と連携して個別ケースの情報提供・共有を行い、必要に応じ関係機関につなげました。
区役所と協働で子どもの医療に関する講演会を開催し、広く情報提供を行いました。
- 人材育成事業
介護予防ボランティア講座修了者から自主グループ「フルーツばすけっと」を立ち

上げ、継続的に後方支援を行いました。子育て支援事業や地域子育てサロンへ布おもちゃの提供をして、福祉活動の推進に向けて取り組みました。また、回想法講座の修了者がボランティアとして発展し、デイサービスなどで活動できるよう継続的に支援しています。

●障がい児者支援事業

西区地域自立支援協議会と協働で余暇支援事業に取り組みました。また、区こども家庭障害支援課、関係機関と協働で障がい児支援事業に取り組みました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

●介護予防ボランティア講座修了者から自主グループ「フルーツばすけっと」を立ち上げ、継続的に後方支援を行いました。子育て支援事業や地域の子育てサロンへ布おもちゃの提供をして福祉活動の推進に向けて取り組みました。

●高齢者のボランティア活動推進のため、いきいきポイントの普及に努めました。また、地域版広報紙にボランティアの活動を掲載し、福祉活動の啓発をして、新しい人材の発掘に取り組みました。

●ボランティア感謝会&交流会を開催し、ボランティア活動の意欲向上、ボランティア間の交流、ネットワークづくりを行いました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談

- 地域包括支援センター3職種（ケースによっては、所長・地域活動交流担当も含め）で検討会を定期的を実施し、個別相談の支援方針の決定や自主事業運営などを行いました。
- 地域の会議はもちろんのこと、個々の民生委員の方々へ地域包括支援センターの案内や事業の案内を行いました。
- 個別相談から、認知症予防や各人にあうような居場所づくりの事業展開を行いました。
- 西区役所で行われている「ケアプラザ会議」「包括の担当者会議」及び月1回の高齢担当と「定例カンファレンス」や区内他の地域包括支援センターの職種ごとの会議などを活用し、幅広く情報を得てどのような方からの相談でも、相談内容を正確に把握し支援へと繋げていきました。
- みなどみらい地区へ自主事業や広報紙などにより地域包括支援センターの周知を行いました。

地域包括支援ネットワークの構築

- 介護・医療が連携できる会議（介護・医療連携会議、在宅医療拠点モデル事業、地域ケア懇談会など）に出席し、ネットワーク構築の支援・地域包括支援センターの周知を行いました。
- 民生委員とケアマネジャーとの交流会を開催し、連携のネットワーク構築の為の支援を行いました。
- 地域ケア会議を開催しました。（2回）
- 認知症のひとと家族を見守る多職種ミーティングを開催し、ネットワーク構築に努めました。

実態把握

- 圏域の統計資料などを集約し実態把握に取り組み、自主事業の開催を行いました。マップに地域資源を落とし込み可視化による地域状況の把握に努めました。
- 地域のサロンや町内会などの各種行事や会議に出向き、実態把握に努め、ケアプラザの周知を行いました。

2 権利擁護

権利擁護

- 区内の他の地域包括支援センター・区役所・社会福祉協議会と共催し、「人生これから講座（親子で考える老後の生活・成年後見制度）」を開催しました。また、司法書士会との共催にて事業を実施しました。
- 権利擁護サポートネットに参加し、権利擁護の視点・支援方法などの資質向上に努めました。
- 消費者被害の予防として法人で作成したメモ帳を活用し、事業や地域の食事会にて啓発を行いました。また、地域住民向けに、戸部警察署の協力を得てオレオレ詐欺の予防や動向などの周知を行いました。

高齢者虐待

- 区内地域包括支援センターと共催にて、西区訪問介護事業所連絡会と連携し、虐待の早期発見・予防についての啓発を行いました。
- サポートネットや各種会議に出席し、関係機関や関係団体との連携に努めました。
- 所内にて、虐待相談があった場合の迅速な対応などのミニ研修を行いました。

認知症

- 認知症になっても個人としての尊厳を保ち、地域で自分らしく安心して暮らしていけるように、地域住民が認知症を理解して、認知症高齢者を地域で支えていくための啓発講座「認知症サポーター養成講座」を実施しました。
- 認知症の方を介護されているご家族のため、「西区あけぼの会」と連携し、介護者が不安なく介護を続けられるよう個別支援・「介護者のつどい」を実施しました。
- 回想法講座・勉強会を実施し、認知症の方へ地域資源となるよう取り組みました。
- 若年認知症のミニデイサービスを行いました。

3 介護予防マネジメント

二次予防事業対象者把握

- 総合相談やの自主事業、地域のお祭りでの「出張健康相談」で基本チェックリストを施行し、二次予防事業対象者の把握に努めました。
- 対象者へは保健指導を行い、「にこにこしにあセミナー」を始め、ケアプラザの自主事業へ参加を促し、継続的に対応をしています。
- 自主事業や地域の集まりなどに出向き介護予防の講話を実施しました。

介護予防ケアマネジメント力

- ケアマネジャー向けに、介護予防の視点・自立支援の考え方の研修を実施しました。
- 介護予防スキルアップ講座を実施し、要支援者が意欲的に自立して生活ができるための研修を実施しました。
- ケアマネジャーと民生委員の交流会を開催し、関係者が連携できるよう取り組みました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地域の活動（会合・祭り・清掃活動など）に参加し、気軽に相談できるように努め、みなとみらい地区で事業を実施し周知に取り組みました。
- 出前講座を開催し、適切な介護保険制度の利用について、周知しました。
- 独り暮らし高齢者見守り事業で把握した方を、ケアプラザの自主事業などに繋げたり、民生委員と連携し介護保険サービスへつながるように努めました。
- ケアマネサロン・自主事業にて他職種・他機関が連携できるように、意見交換・情報交換の場を提供しました。
- 地域ケア会議を実施し、地域の課題抽出や共通認識を持てるように、取り計らいました。

医療・介護の連携推進支援

- 介護・医療連携会議、在宅医療拠点モデル事業、地域ケア懇談会、認知症のひとと家族を見守る多職種ミーティングなどで、介護・医療が連携できる支援を行いました。
- 担当エリアの病院・薬局の情報を整理し、総合相談・ケアマネジャー支援に役立てました。
- 癌のターミナル期の相談が増えており、退院の調整など総合的に支援を行いました。
- 介護・医療につながらない方をケアプラザの協力医に相談し、対応いたしました。

ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーの資質向上をめざし、ケアマネサロンを開催しました。平成 25 年度は、特に新人ケアマネジャーの参加が多くありました。研修会後に交流会の場を設けることで、他事業所のケアマネジャー同士での交流が図れました。
- 西区ケアマネ研究会の役員会へ出席し、西区全体の情報を把握するように努めました。
- 困難事例においては、カンファレンスを開催しました。事例検討会では、ケアマネジャー自らが気づきを得られるような支援を行いました。

介護予防事業

介護予防事業

- 介護予防推進事業として、みなとみらい地区での「ノルディックウォーキング」「にこにこしにあセミナー」を実施しました。
- 介護予防普及事業として、ボランティア育成の為の「布おもちゃづくり」「回想法講座」を実施し、自主化・継続した勉強会へとつながりました。
- 基本チェックリストに該当した方、介護予防に興味がある方についても、地域活動交流担当と連携しながら、介護予防の自主事業を開催し、支援を行いました。

その他

身体の維持・向上を目的として、当法人にて作成されたオリジナル体操「チューリップ体操」の普及に努め、地域の幅広い年齢層が無理せず、気軽にできる体操として活用していただきました。

平成25年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：戸部本町地域ケアプラザ

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料収入	18,662	23,548	2,583					
	介護保険収入				8,883	16,047	72,958	7,696	34,657
	その他								
	指定管理戻入分	-504	-218	-602					
	認定調査					468			
	食費収入						5,114	568	1,513
	その他	324	148			450	403		50
	収入合計(A)	18,482	23,478	1,981	8,883	16,965	86,739		36,220
支出	人件費	10,512	19,641	1,268	4,438	12,436	46,453		22,359
	事務費								
	事業費	2,961	3,116			2,546	10,298		3,939
	管理費	6,500	1,714			14	6,624		1,894
	その他								
	施設使用料相当額						2,993		997
	居介支委託分				3,886				
会計区分外繰入金支出					757	20,371		7,031	
	支出合計(B)	19,973	24,471	1,268	8,324	15,753	86,739		36,220
	収支 (A) - (B)	-1491	-993	713	559	1212	0		0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※**精算書をベースに作成してください。**

平成25年度 自主事業報告書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防コース にこにこ隊	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：介護予防コース	毎月第2・4月曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シナクチャーズ	目的：主に、一人暮らしや団塊の世代に男性の閉じこもり 防止・交流の場の提供・介護予防 自主活動団体への後方支援 内容：男性料理教室「しなくちゃクッキング」から自主化 した団体への後方支援・助言	毎月第2火曜日 (全9回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の居場所づくり・介護予防・ボランティア 育成 内容：中高年の男性の居場所作り、ボランティアの育成、 介護予防。	毎月第4火曜日 (全12回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症ミニ デイサービス 『わたぼうし』	目的：若年性認知症の方への居場所づくり・社会参加の 場・ご家族のレスパイトと支援 内容：介護予防体操・外出・昼食やおやつの提供などのミ ニデイサービス(全12回の内、1回は台風の影響にて中止・ 1月～3月は参加者おらず中止)	毎月第3水曜日 (全8回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：第2週はプレイルームの解放、第4週はミニ企画の実 施(読み聞かせ、体操プログラムなど)	毎月第2・4木曜日 (全22回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体 操in石崎川公園	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施	毎週土曜日 (全47回)

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者のつどい	目的：家族介護者同士の交流の場の提供 内容：介護者同士の話し合い・情報交換・講座など実施しながら親睦・介護の情報提供を行う（全6回の内1回は参加者集まらず中止）	不定期 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりフラダンス ロケラニ	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防 内容：フラダンスを通しての介護予防	毎月第1水曜日 （全11回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	目的：健康・介護等の出張相談。ケアプラザの周知 内容：藤棚らいぶステーションでの出張相談会（6回）と地域のお祭りなどでの健康相談の実施。	不定期 8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具相談 ・展示事業 「転ばぬ先の杖」	目的：効果的に福祉用具を利用することにより、介護予防に繋げる。福祉用具相談の充実を図る。 内容：福祉機器の展示・相談・紹介	奇数月 （全6回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にこにこしにあ セミナー（介護 予防推進事業）	目的：介護予防の取り組みを始めるきっかけを提供する。 介護予防活動を実践する地域の高齢者が増加する事。 内容：体操に関する講座を実施。	1コース（全6回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス『歌の広場』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第3火曜日 （全12回）

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく健康ストレッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	毎月第2・4金曜日 (全16回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこ手うちラーメン教室	目的：交流の場の提供・仲間づくり 福祉活動団体の活動の場の提供 内容：手打ちラーメン作りと試食	平成25年8月3日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症の理解と啓発・ケアプラザの周知・認知症サポーターの育成 内容：地域住民向け・友愛会のメンバー向けに認知症の理解や啓発の為の講座	不定期（全2回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
相続と遺言基本講座	目的：権利擁護の啓発 内容：司法書士による相続と遺言の講座と相談会	平成25年9月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
戸部本町地域ケアプラザまつり	目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各団体の交流支援 内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー など	平成25年11月24日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しくお味噌を作ろう	目的：食育・親子の交流の機会の確保・仲間作り支援 内容：みそ作り、会食・交流	平成26年2月9日 全1回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供 仲間作り支援 内容：ケアプラザにボランティア登録してくださっている方々を対象とした会食・交流会	平成26年3月9日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児者余暇支援事業	目的：障がい児者余暇支援 ボランティアや地域の方々と共に様々な経験する 内容：夏まつり・餅つきの実施	平成8月11日・24日 平成26年1月26日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区サブコーディネーター研修	目的：西区内のサブコーディネーターのスキルUP 研修の企画・運営・コーディネート 内容：地域活動交流事業等の研修	平成26年1月31日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援 ○△□	目的：障がい児や病気のある未就学児親子の仲間づくり。 情報交換・情報提供。関係機関との連携。 内容：西区役所・ガッツビーと西と共催にて実施。全5回の内、第3回を戸部本町CPを会場として実施。親子の遊びと交流会。	平成25年10月30日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操 in みなとみらい	目的：健康増進・介護予防・異世代交流・ケアプラザの周知 内容：高島中央公園でのラジオ体操 毎月第1日曜日（3月は雨天により中止）	毎月第1日曜日 （全11回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的・エリアのケアマネジャーの質の向上、スキルアップ 内容・ケアマネジャーへの研修会の開催、企画、運営	通年 （全10回）

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区介護予防ボランティア講座シリーズ2 ②回想法講座・勉強会	目的：介護予防普及事業。認知症を理解し回想法を学ぶことを通じてボランティアの育成をする。 内容：回想法、認知症についての講演会（1回）と講座（4回）と講座終了後の実践を通じた勉強会	平成25年6月～ （全11回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ友倶楽部	目的：0歳児親子を対象とした子育て支援 内容：ベビーマッサージ・産後ママのボディシェイプの内容で、0歳児に近隣の友人作り・情報交換の場の提供。	毎月第1・3火曜日（全23回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はり切り堂	目的：高齢者の閉じこもり防止し外出の機会を提供する。脳の活性化、介護予防。地域住民の交流、仲間づくり。 内容：高齢者が交流を図りながら手芸等で手指を使い介護予防をするサロン。個別相談等に対応する機会の提供	毎月第2水曜日 （全12回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニティーキッチン5	目的：異世代交流 内容：支え合い連絡会から発足した異世代交流会（カレー会食会）	平成25年8月22日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキングinみなとみらい	目的：みなとみらい地区での介護予防・健康増進・住民同士の交流・障がい者理解 内容：高島中央公園を起点として、区内や近隣区公園や史跡などをポールを利用しウォーキングする。また、参加者同士の交流の場として、みなとみらい地区の障がい者作業所を利用した。（雨天・猛暑により中止あり）	平成25年6月～ 毎月第2・4土曜日 （全15回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ナイトボクササイズ	目的：健康増進・生活習慣病予防・ケアプラザ周知 内容：ボクササイズの実施	平成25年9・10月 （全6回）

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区介護予防ボランティア講座シリーズ2①布おもちゃを作ってみよう	目的：介護予防普及事業 人材育成 内容：布おもちゃの作成を通し、ボランティアの育成・介護予防・交流の場の提供	平成25年5月 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ育講座	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：子育て支援拠点『スマイルポート』との共催による、0歳児とその保護者の仲間づくり・地域参加支援のプログラム	平成25年7月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの医療に関する講演会「上手な医療のかかり方」	目的：乳幼児養育者への情報提供 内容：西区区役所と共催事業。講師を招き、医療機関との上手な付き合い方を学ぶ。	平成25年9月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て講演会「子どもの病気とけが～小児科医からのメッセージ～」	目的：育児不安の軽減・情報提供 内容：小児救急正しい対応・かかり方について小児科医から学ぶ	平成25年11月16日 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
美文字で百人一首	目的：介護予防・地域の方々の交流の場・認知症予防 内容：百人一首のなぞり書き・歌の意味を考える・歌を詠む・	毎月第4水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
出前講座	目的：介護予防・権利擁護啓発・ケアプラザの周知・関係機関との連携強化 内容：地区社協食事会・老人会・ふれあい会などに出向き介護予防や権利擁護・認知症等についての講話や体操・レクリエーションの実施	不定期 10回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人生これから講座	目的：権利擁護啓発 内容：西区役所・区社協・他ケアプラザとの共催事業。地域住民向けの「親子で考える老後の暮らしあれこれ」と民生委員向けの「成年後見制度の理解」講座を実施。	平成25年11月30日 平成26年2月14日全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃ支援事業	目的：布おもちゃ作りを通じた、介護予防ボランティア育成事業 内容：布おもちゃ講座（介護予防普及事業）終了した方や地域住民が布おもちゃ作りを通じ、ボランティア活動をしていくための支援を行う。	毎月第1・3木曜日（全20回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーの交流会	目的：民生委員とケアマネジャーとの関係づくり 内容：会食会と交流会・情報交換	平成25年9月全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容等	実施時期・回数